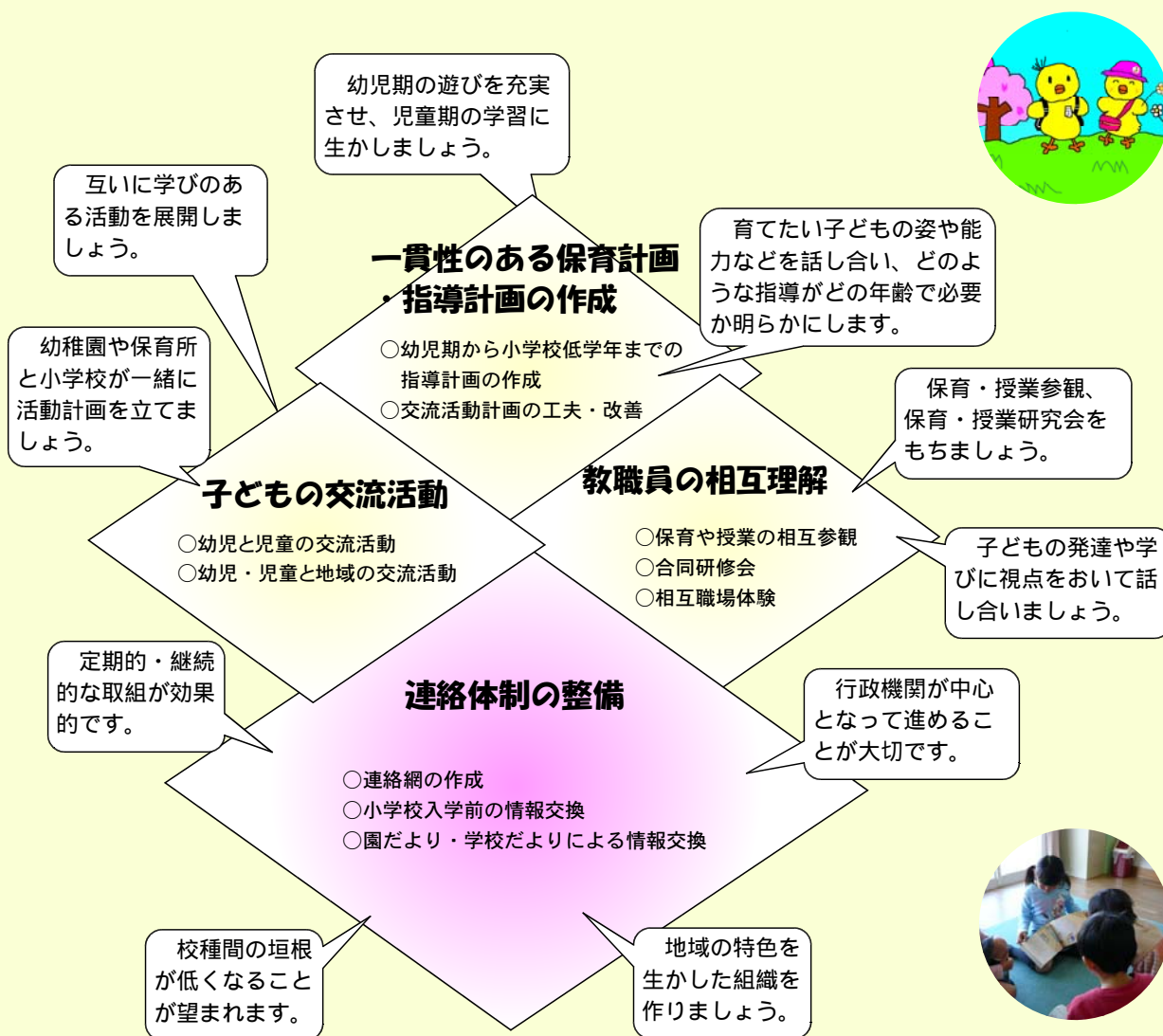




とちぎの幼・保・小連携 Q&A

幼・保・小連携の基本は、「生きる力」の基礎となる幼児教育の成果を小学校教育に生かすということです。栃木県では、幼児期から児童期の子どもの発達段階を踏まえた指導の充実を目指し、幼・保・小連携を推進しています。

◆ とちぎの幼・保・小連携 ～具体的な取組～ ◆



このリーフレットは、本県の幼・保・小連携の基本事項をまとめたものです。幼・保・小連携はなぜ必要か、どのような取組があるかなどの疑問があるとき、あるいは、教職員同士の共通理解を図りたいときの参考にしてください。

Q

幼・保・小連携は、なぜ必要なのですか？

A

生活や遊びを通した総合的な指導を行う幼児教育と、教科の学習を中心とした指導を行う小学校以降の教育とでは、その方法において違いがあります。子どもにとってはその違いが段差となってしまうと適応できずに、小学校以降での様々な問題となって現れてくる可能性があります。

そこで、近年、幼児教育と小学校教育との円滑な接続の在り方を考える取組として、幼・保・小連携が求められるようになりました。

さらに、その背景を詳しく説明します。

◆ 幼・保・小連携が求められる背景 ◆

子どもを取り巻く社会の変化

- ・少子化、核家族化、都市化、情報化等の経済社会の急激な変化
- ・人間関係の希薄化、地域における地縁的なつながりの希薄化、大人優先の社会風潮 など

子どもの生活や育ちの変化

- ・基本的な生活習慣の欠如
- ・コミュニケーション能力の不足
- ・自制心や規範意識の不足
- ・小学校生活への不適応
- ・学びに対する意欲・関心の低下 など

保育・教育に求められている課題

- ・幼児教育の成果を踏まえた小学校生活への適応のための指導の工夫
- ・小学校低学年の学習や生活の基盤となるような幼児期の体験の充実
- ・規範意識の確立に向けた集団とのかかわりに関する内容の充実
- ・発達段階に応じた基本的な生活習慣等の確立
- ・遊びから学習への円滑な移行
- ・家庭との連携・協力 など

幼児教育の成果を小学校教育に生かす
幼・保・小連携の推進が必要



Q

幼稚園や保育所等における幼児教育と小学校教育の段差とは、どのようなものですか？

A

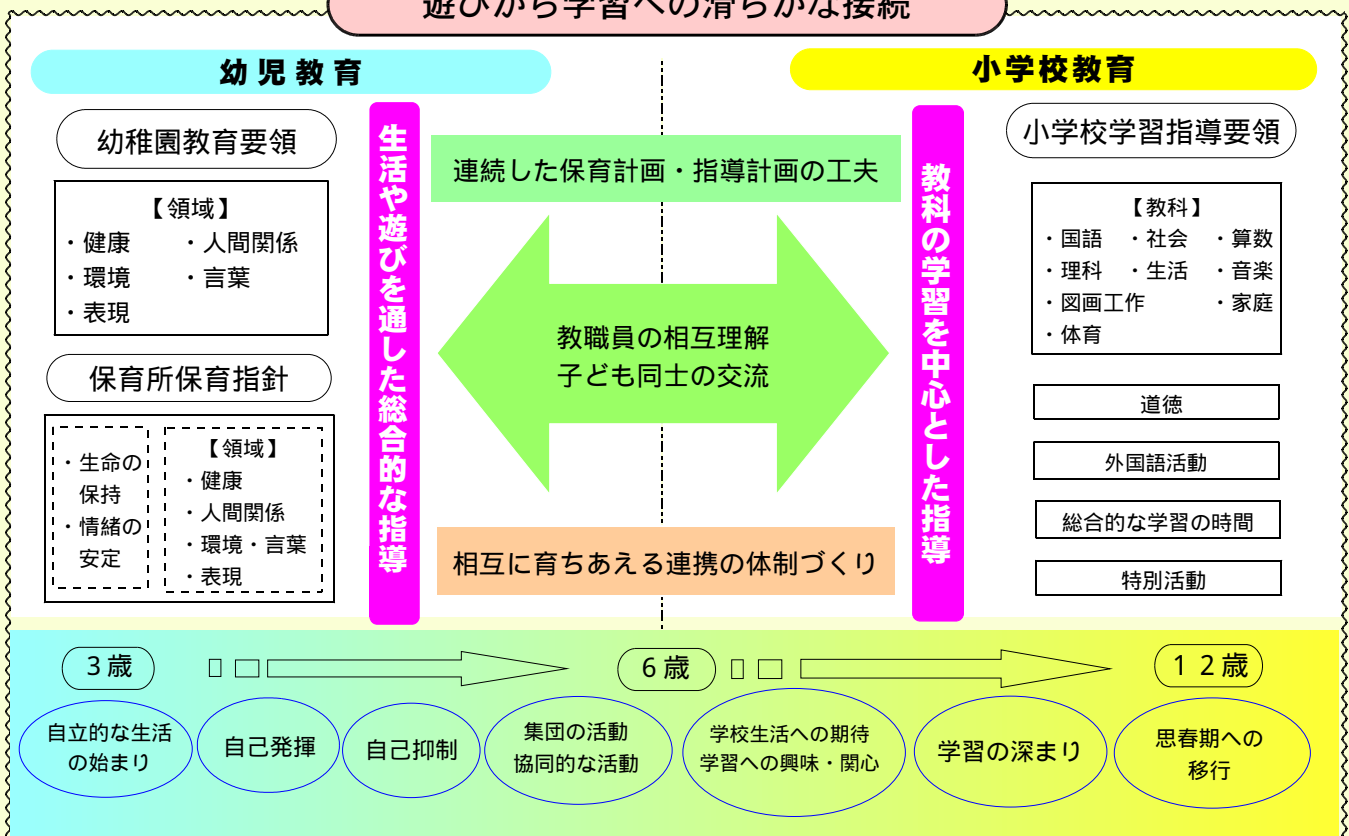
1日の生活の流れを例に考えてみると、幼稚園や保育所では、1日が活動のまとまりです。それに対して小学校では、国語や算数などの教科中心の授業が組み立てられ、授業の間に休み時間があるという生活です。

子どもにとって、給食や弁当の時間以外は明確な区切りのない幼稚園・保育所での生活から、細かく区切られた時間割どおりに過ごす小学校生活への移行は、大きな戸惑いとなることもあります。

さらに、教育全体から見ると、次のような違いがあります。

◆ 幼児教育と小学校教育の特色 ◆

遊びから学習への滑らかな接続



◆ 小学校低学年の生活科を中心としたスタートカリキュラムの作成や、年長児における協同的な活動の充実が求められるようになるなど、幼児教育から小学校教育への円滑な接続の取組が進んでいます。

Q

幼・保・小連携の取組について保護者の理解を得るためには、どのような手立てがありますか？

A

幼稚園や保育所では、次のようなことが考えられます。

園だよりによるお知らせ 保護者会での講話 幼児と児童の交流活動への参加

小学校では、次のようなことが考えられます。

学年だよりによるお知らせ 就学時健康診断等を利用した講話 学校開放日への招待

その際、幼・保・小連携の取組を行ったことでうまくいった具体的な事例を挙げながら、積極的に伝えていきましょう。

例えば、次のようなことに有効です。

うちの子、ひらがなを書けないけど大丈夫かしら…
小学校でうまくやっていけるかしら…

不安な気持ち

【入学前の保護者や子ども】

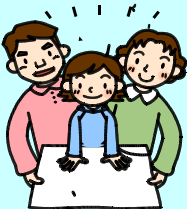
園でもひらがなの練習をさせてください。

無理な要望

無理な要望は不安の裏返しということもあります

そんなとき…就学時健康診断で来校した保護者への校長先生の話

小学校入学は、子どもの成長のよい機会です。本校では、幼・保・小連携に取り組んでいます。そのため、幼稚園や保育所と、本校の教職員の相互理解を図り、幼稚園や保育所で培われた力を小学校で生かせるよう、授業の工夫をしています。幼児期に試したり工夫したり、自分で考えて遊んだことが、小学校で生きてきます。ですから、自分の名前を書けないかなどといった心配することはありません。文字の指導は、……。



入学前に、無理に文字の練習をしなくてもいいのね。幼稚園や保育園での経験を生かして、小学校でしっかり指導をしてくれるのね、安心したわ。



保護者も子どもも安心し、楽しい学校生活を送ることができます。

お問い合わせはこちらへ

栃木県総合教育センター
幼児教育部
(栃木県幼児教育センター)
TEL 028-665-7215
FAX 028-665-7216

